

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 島田 洋二郎

副会長 松本 恭一

幹事 石毛 充

会計 金子 芳則

2016～2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016～2017RI 会長 ジョンF. ジャーム

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2934号 (2017年2月15日発行)

今週のプログラム

「銚子ロータリークラブの遍歴 part 2」

坂本 尚史会員

前回例会報告 (2月8日)

点鐘：島田 洋二郎会長

ロータリーソング：我等の生業

四つのテスト唱和 ビジターなし



会長挨拶

先週の木曜日 (2日) に石毛幹事と茂原ロータリークラブの例会に伺ってきました。例会場が変わったことを確認しないで、以前の会場へ行ってしまい、あわてて移動するというオマケ付でした。

クラブ創立が銚子は3月23日、茂原がその翌日24日で、お互いに60周年ということもあり、こちらから表敬訪問をさせて頂いたわけですが、以前にも3度、茂原の例会へ出席させて頂き、その例会運営が素晴らしいことを年度に入る前から



石毛幹事にも伝えていました。前々から幹事が是非一度茂原の例会へ伺いたいと言って

おりましたので、この機会にメーキャップをさせて頂いた…ということです。もちろん、私どもの60周年のお話もさせて頂きました。(写真左)

やはり素晴らしい例会で、参考になることも多くありましたので、今後、小林 SA と石毛幹事とで話し合って今後活かして頂ければと思います。

先週の理事会の中で、「4つのテスト」についての話ができました。今日はこの「4つのテスト」のお話をしようと思います。

1929年からの世界大恐慌の時期に、シカゴクラブのハーバート・テイラーが、莫大な借金を抱えて倒産の危機に際していたクラブ・アルミニウム社の経営を引き受けることになり、その再建のために1932年、道徳的、倫理的な指標として、社員全員が簡単に覚えられる24語の言葉を表したのが「4つのテスト」ですが、今日はロータリーの源流の中で、銚子にもRI会長代理として来られた田中毅氏の解説を紹介いたします。これはあくまでも当時の商取引を前提とした解説です。ロータリアンには商取引だけでは語れない会員の方もいらっしゃると思いますので、前提としてご理解いただければと思います。

まず、「4つのテスト」は英語では“ For way test ”です。4つであれば複数ですので tests だと思いますが、ハーバート・テイラーの考えでは事業を成功させるためには、これら一つ一つが単独なものを並べたのではなく、test として単数となっているのは4つすべてを絡めてクリアしなければならないことを意味しています。簡単に言えば4つでひとつ…ということです。

◎Is it the truth? = 真実かどうか・・・

商取引ではその品質、納期また、契約条件についてもうそ偽りがないかは大切な基準となりま



第2790地区

ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀

委員 金子 芳則

す。全体の8割が真実だとしても残り2割がそうでない、もしくはグレーならばそれは事実とは言えません。商取引では“真実か”ではなく、“それが事実か、うそ偽りがいないか・・・”ということです。

◎Is it fair to all concerned?

＝みんなに公平か・・・

“公平”とは平等に分割するとうことです。たとえば不正なもので得られた利益でも平等に分配すれば、その範囲の中では公平となってしまいます。商取引での“みんな＝all concerned”は、“関わり合う人、取引先すべて”ということで、みんなに公平という意味は「すべての取引先に対して公平か・・・」ということです。

◎Will it build goodwill and better friendship

＝好意と友情を深めるか・・・

“goodwill”は、単なる好意とか善意ではなく、商取引上では店の信用、評判、“friendship”は取引先との関係です。その商取引が「店の信用を高め、取引先とのより良い関係が作れるか・・・」という意味です。

◎will it be beneficial concerned?

＝みんなのためになるかどうか・・・

“beneficial→benefit”は儲けそのもの＝利益を表わす言葉です。商取引で利潤を求めることは当然のことで、それが「売り手だけ」また「買い手だけ」に片寄っては公平とは言えません。商取引においては「すべての取引先が適正な利潤を得ることが出来るか・・・」ということになります。

今日皆さんにお伝えしたロータリーの源流の中での田中毅氏のこの「4つのテスト」の解説は、あくまでもハーバート・テイラーが会社の再生のために表わした、当時の商取引における「社訓」のようなものですが、その後、職業倫理の哲学として引き継がれていきます。

「4つのテスト」の日本語訳は正確ではないと言われる方もいらっしゃると思いますが、この日本語訳の「4つのテスト」は商取引とか職業はあえて問わずに、全てのロータリアンの行動指針として表わされていると理解したほうが自然だと思っています。

この1932年に顕された「4つのテスト」は1943年の国際ロータリーの理事会で正式に採択をされ、1954年、ハーバート・テイラーは国際ロータリーの会長となり、この年に「4つのテスト」の著作権をロータリーに譲ることになります。その年度のRIテーマは「良きロータリアンは良き市民である」でした。

幹事報告

【週報拝受】波崎 RC 成田空港南 RC

1. 平和と紛争予防紛争解決月間リリースのご案内

2. 第三回女性会員交流会鴨川ツアーご案内
3. NPO 法人国際ロータリー日本青少年交換委員会を他地区合同奉仕にすることを承認する件
4. 2016 学年度米山奨学生・終了式及び歓送会のご案内

…ガバナー事務所

5. ローター手帳お買い上げのお願い

…一般社団法人ロータリーの友事務所

6. 創立 55 周年記念式典のご案内
…八日市場 RC

【例会変更】

八日市場RC

2月21日(火)→19日(日)IMに振替

28日(火)定款第8条第1節(C)により休会

会員の記念日

☆入会記念日

大里 忠弘会員(2月5日)



ニコニコBOX

◇大ニコニコ 桜井広和会員



1月31日に83回目の誕生日を迎えることが出来ました。そろそろ運転免許証の返納を考えたらと子供達に云われましたが、後2年頑張る積りです。

卓話

「ロータリー財団100周年記念

シンポジウムに参加して」

高瀬 幸雄会員



平成28年11月27日、ロータリー財団100周年記念シンポジウムに参加しました。場所は東京駅南口の旧東京中央郵便局敷地に建設されたJPタワー・KITTE4階で総勢850名を超えるロータリアンの参加のもと開催されました。概要はロータリー

の友、1月号の記事の通りですが私は緒方博士の講演を期待していましたが、国連から急きょ来賓があった為、中止になったことは非常に残念でした。

緒方貞子博士は(1927年生(昭和2年)生まれで今年で90歳を迎えられることになり、ロータリー財団と共に歩まれたような方と思います。1951年(昭和26

年)、日本から国際親善奨学生第二期生としてアメリカ・ジョージタウン大学に留学。戦後間もない時期にアメリカに渡米。そして苦勞されながら勉学に励みそして人道関係に多に尽力され日本が世界に誇れる立派な方であり、ロータリーと繋がりがあことは大変嬉しく思いました。

ロータリー財団は1917年(大正6年)、アーチCクラフ RI 元会長の「世界でよいことをするために」基金を設置、このビジョンが現在のロータリー財団のもとになりました。ロータリー財団はこのように言っています。皆様からの寄付を、世界中の人々の奉仕に役立てています。ポリオ撲滅や平和の推進といったロータリーの優先的な活動のため活用しています。又、財団の補助金は、ロータリアンが貧困、識字、飢餓等の問題に対し持続可能な方法で取り組むことを可能にすると、謳われています。ロータリー財団が支援を実施する11のプログラムは次の通りです。

1. ロータリー財団国際親善奨学生のため
 2. 大学教員のためのロータリー補助金に
 3. 国際問題研究のためのロータリーセンターに
 4. 研究グループ交換のため
 5. 地区補助金に
 6. ボランティア奉仕活動補助金に
 7. マッチング・グラントに
- マッチング・グラントの目標は、ロータリークラブと地区が他国のロータリアンと協力して国際的な人道的プロジェクトを遂行するのを援助することであると、謳っています。
8. 保険・飢餓追放及び人間尊重(3-H)補助金に
 9. 災害復興に
 10. ポリオ・プラスに
 11. ポリオプラス・パートナーに

今回主催のロータリー財団学友会とはどんな組織か調べてみますと、ロータリー財団学友会とはロータリーが支援を実施している11のプログラムの内の国際親善奨学金プログラムによって国際親善奨学生として外国に留学し、帰国した学生及び、研究グループ交換(GSE)を終了したチームメンバー、ロータリー世界平和奨学生、大学教員のためのロータリー補助金受給者で構成されている。又、ロータリー平和フェローは、生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外での協力、平和、紛争解決を推進するリーダーのことです。今回のシンポジストの金子 由佳さんがこれに当たります。

式典はRI会長の挨拶で始まりました。ロータリー財団を通じて、ロータリアンが人類のために如何に奉仕しているかを、本日の学友の方々からの発言から知っていただきたい。そして、ジョンFジャーム会長は学友の方々もロータリアンになり奉仕を行って欲しいと挨拶されました。そして、今回のシンポジスト5名と司会者1名が紹介されましたが、6名全員が女性であっ

たので、会場はウーマンパワー炸裂の空気に包まれました。

シンポジストのプロフィールとその方の体験談等について報告させていただきます。

1. 司会者 榎原 美樹 昭和59年豊中RCからの国際親善奨学生です。現在、NHK 国際放送局ワールドニュース部編集長を務め NHK 国際放送で、70か国ほどの取材をもとに、英語で東京から世界に向けて「日本から見たアジアはこのようなもの」だという放送の仕事をしています。

2. 中満 泉 昭和62年 厚木RCからの国際親善奨学生です。現在、国連事務次長補 国連開発計画総裁補兼危機対応局長の要職に在り世界の難民は過去最多の6500万人と推定されています。そして、難民でいる期間が今までは平均16年と言われていましたが、現在は23年に延びたようです。このうち、2100万人が難民として国境を越え、その半数が18歳未満の男女とのことです。又、国籍を持たない人が、1000万人いるともいわれているようです。6500万人を世界国別人口、196ヶ国で見ると、地球の総人口は73億人と言われています。1億人以上の人口を有する国は日本を含め12か国、その総人口は約45億人です。これは総人口に占める割合の61%を超える数字です。6000万人以上の国が10か国その総数は8億人、全人口の約11%です。6000万人以下が174か国になり、その人口割合は、約28%です。ちなみにイギリスの人口が6400万人を少し超えた所と考えると、イギリス国民全員が難民の計算になります。6500万人は地球全体から見ると0.9%ですが単純に1%と考えると、100人に一人が難民になり驚くべき数字です。ちなみに196位の国はバチカンで、人口400名のようなようです。

3. 赤坂 陽子 平成4年 富田林RCからの国際親善奨学生です。国際難民高等弁務官事務 (UNHCR) タンザニア副代表努められておりシリアで働いた経験をお話され、人道支援の難しさを語られた。活動をしてきたそのエリアは10km四方に97万人が生活し、(100Km²はだいたいパリ、日本では猪苗代湖の面積程)で、その周りは政府軍または反政府軍に包囲された環境にあり、外部との接触はほとんどできない場所で、そして、毎日戦争により人が死んでいく状態だったと語られた。又、政府軍とか反政府軍とか分けることが難しく、今日の政府軍が明日は反政府軍に寝返り、そしてその逆に反政府軍が政府軍に寝返ることは、日常茶飯事のようなようです。中東から見る日本は敗戦から立ち直り経済復興を成し遂げたことに対し、敬意を払っている。そして、日本人が持つ、優しさや勤勉さも高く評価されているとのこと。

4. 国枝 美佳 平成8年 藤沢北RCからの国際親善奨学生です。東京大学大学院博士課程在籍ポリオの予防接種の任務でアフリカ各国の各地方、各地区でポリオの実施状況をフォローする仕事をしていた時、

現地の人から「なぜポリオだけ」との声が心に残り、ポリオだけではなく、全体を見られるようになってほしい、いま東大で学業に専念していますと話されました。私は国枝さんがその答えを見つけることに期待し、又、見つけていただきたいと願っています。

5. 阿阪 奈美 平成 17 年 東京中野RCからの国際親善奨学生です。現在、国際難民高等弁務官事務所 (UNHCR) タイのカンチャナブリで保護官をされています。皆さん東南アジアのタイにも 10 万人のミャンマー難民がいることをご存知ですかと話された後、南スーザンでの出来事を話されました。南スーザンで紛争が勃発した平成 25 年 12 月 15 日、阿阪さんは現地に滞在していたとのこと。その日はたまたま、現地人の部下を出張に行かされたようですが、なんと、その出張先が紛争を起こした地区であったので、安否の確認が出来るまで頭の中が真っ白だったようです。幸いにも無事との報告を聞いたときは嬉しさが込み上げてきたとのことでした。又、南スーザンでの自衛隊の活動が、昨年 12 月から駆け付け警護がプラスされました。このことがどのような事態になるかは、今後の情勢を見ないと判りませんが、阿阪さんが 2 年前に現地で見た自衛隊活動は、宿営設備の建設に汗水を流し、懸命に働いていました。その結果、宿舎が無事完成しましたが、その数日後、中国軍がその宿舎に入り、中国国旗を立てたのを見て、大変悲しく思ったことと複雑な感情が心にこみあげて来たことを今でも鮮明に覚えていると話されました。

6. 金子 由佳 平成 22 年熊谷東RCからの平和フェローです。日本国際ボランティアセンター・エルサレム事務所現地代表で現在、パレスチナ地区のガザ地区で働いていますその地区に住む、5 歳以下の子供の栄養改善事業を実施しているとのこと。そして、この地区のベツレヘムロータリークラブが横浜ロータリークラブと友好関係にあり毎年、ガザ地区を訪問し、親善を深めているとのことでした。シリア難民問題が大きく報道されていますが、元々、イスラエルとパレスチナとの間で 70 年前から紛争を続けておりこの問題を解決しない限り中東の紛争がなくなると言っていました。最近のニュースで、イスラエルと日本が共同でドローンを開発することが報道されました。この報道に対してパレスチナ側は危惧を抱いているようです。これは軍事目的であることは明らかで、ガザ地区での日本に対する見方が悪い方向に変化が生じないか心配していますと言っていました。

最後にシンポジストがそれぞれの話をされた中、私の記憶に残っていることを報告します。紛争の一つの原因に、低開発国向けの援助が挙げられます。援助を受ける側が、その資金で私欲を膨らませることにより、援助を必要とする人達が援助を受けられない状況が出てきます。それが継続されることにより援助を受けられない人達の不満が増大し、内戦へと向かうこととなります。援助するほうも、賄賂や歪みを知って

いても援助を断ち切れない複雑な悩みを抱えています。これが大きな問題と言っていました。

又、過酷な環境下で仕事をするにあたっての考え方について、ロータリアンから質問があり、回答として過酷な環境下で仕事をするにあたっては、客観的に捉えるか、主観的に捉えるかは立場により異なると思いますが、過酷な環境下では主観で捉えないと身体が持ちませんとの回答でした。そしてロータリアンの皆様へのお願いとしてとの言葉で夢を持っている方への投資を続けてください。ロータリーのネットワークを使い世界平和に協力して下さい。日本では地区に根ざしたロータリーの活動があります。コミュニティーを大事にし、その次の世代に繋ぐ人達に対しての協力と、地域の広がりや、新しい力による素晴らしい枠組みを作っていただきたいとします。私たちが人道支援に力を注ぐのは、自身もいろいろな人に支援してもらい、その恩に報いる為に活動しています。そして、活動の中にあって現地の方々から、感謝の言葉を頂いたとき最高の喜びに変わります。こんな言葉と共に、式典が終了しました。

私はこの講演で感じたことは、「ロータリアンとして火中の栗を拾えるか」と自問しました。特に国際親善の対象国の中には、紛争のない国もありますが紛争が絶えない国、そして平和な暮らしがでない人達に私たちロータリアンが今後どのように協力していけば良いのかを考えさせられた一日になりました。又、足元の地域のコミュニティーの中でロータリアンとして何を成し、何に協力できるかを考え直す時期にさしかかっているかもしれません。アーチ C クランプ RI 元会長の「世界でよいことをするために」を「銚子でよいことをするために」に置き換え、ロータリー財団 100 周年記念シンポジュームの参加報告とします。

【出席報告】

会員総数 41 名 出席計算 39 名
出席：29 名 欠席：10 名 出席率 74.36%
欠席：伊東君・木曾君・越川君・丸山君
宮内(秀)君・杉山君・櫻井(公)君
副島君・富永君・高橋宏明君

【M U】なし

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 13,000	計	¥ 325,000
スモールコイン	¥ —	計	¥ 33,680
米山 BOX	¥ 3,250	計	¥ 35,560
希望の風	¥ —	計	¥ 214,200

次週のプログラム (2月22日)
「伝統文化を活かしたまちづくり
観光の推進について」
佐原商工会議所 事務局長 椎名 喜子様